

助成活動報告書（スポーツ団体大会開催）

助成活動細目	競技会開催（スポーツ普及活動）	
活動名	第40回日本ダーツ選手権大会	
区分	<input type="checkbox"/> 国際大会等 <input checked="" type="checkbox"/> 全国的大会等	
内 容	開催会期	平成27年2月22日（日）
	開催場所	静岡市東部勤労者福祉センター
	参加要件	本協会に選手登録している者であって、各公認大会、都道府県大会での勝ち数を元にポイントをつけた、前年度および当年度ポイント総合上位者
	参加人数	64名
	実施方法	<p>試合方法は、トーナメント方式（エニースタート、ダブルフィニッシュ）で行った。試合分類は、オープンシングルス オープンダブルス 役員・審判・スタッフ延べ35名で実施 大会の広報は、プログラム・案内状を作成し各都道府県協会、官公署、各種学校等に配布。 種目上位4名を表彰。 大会実施後に、大会結果を本会ホームページに掲載。</p> <p>○事業の第三者への委任（事務委託等）の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
活動の成果	<p>全国から64名の選手が参加し、オープンシングルス、オープンダブルスを、ダーツスタンド12台を使用して行った。各ボードに審判1名ずつ配置したことで、厳密かつ円滑に試合を進行することが可能であった。今大会は、全国トップレベルの選手による競技大会であっただけに、真の実力者を決定する重要な試合。それ故、厳粛な雰囲気の中、ゲーム進行が行われた。トッププレイヤーが全国から集結したため、会場内ではダーツが飛ぶたびに、大きな声援がこたました。日本のダーツもプレイするのみならず、応援する方でも随分とステップアップしていると思える。投げ終わった後の大きな歓声は、選手の励みになり、また、観戦しても面白いと言う域に日本のダーツ界もなってきたのだと思う。</p>	
活動に対する評価	<p>女性審判の登用に関しては、育成が難しく、男性審判の中に女性審判が数人という状況だと、なかなか女性が実力を発揮できないということも起こり得たが、今回は多くの女性審判を登用し、問題なく大役を務めることができた。今後も、意欲と能力がある者には性別や年齢に関係なく、公平にチャンスが与えられる競技会を目指していきたいと思う。また、選手の意識に関しても、試合に負けた選手たちも会場を後にするようなことはせず、敗れた相手がどのように勝ち進むのか、どんな戦略を立てているのかを食い入るように見て、勉強していた。本大会に出場した事により何かを得て、今後のダーツに活かして欲しいと思う。全ての面において大成功だったと考える。</p>	